

全国都市問題会議 参加報告書 今村弘志

第78回全国都市問題会議

テーマ：「人が集いめぐるまちづくり・国内外にひらかれた都市の活力創出戦略―」

日 程：平成28年10月5日～7日

会 場：岡山市 岡山国際ホテル

プログラム

【第1日目】

○基調講演

池内 紀 氏（ドイツ文学エッセイスト）

○主報告

大森 政雄 氏（岡山県 岡山市長）

○一般報告

陣内 秀信 氏（法政大学デザイン工学部教授）

森下 豊 氏（奈良県 橿原市長）

山海 嘉之 氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科教授/サイバニクス研究センター長/CYBERDYNE株式会社代表取締役社長）

【第2日目】

○パネルディスカッション

<コーディネーター>

西村 幸夫 氏（東京大学大学院工学系研究科教授）

<パネリスト>

工藤 裕子 氏（中央大学法学部教授）

木下 斉 氏（一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事）

木村 正明 氏（株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役）

本間 源基 氏（茨城県 ひたちなか市長）

末松 則子 氏（三重県 鈴鹿市長）

【開会式】

☆1日目、開会挨拶を初めに全国市長会会長代理 防府市長 松浦 正人氏がされ、次に開催市市長挨拶として岡山県岡山市長 大森 雅夫氏が登壇されました。

ドイツ文学者、エッセイストの池内 紀氏から「まちの見方、見つけ方」と題した基調講演がされ、ドイツと日本は共に敗戦国として復興するまでのそれぞれの歩みを通しドイツと日本を比較した講演後、主報告として開催市の大森 政雄氏 岡山市長が「人口減少社会における都市の活力創出」を講演されました。

続いて一般報告として、陣内 秀信氏 法政大学デザイン工学部教授からは「人を惹き付ける都市空間とその文化力」、次に、森下 豊氏 奈良県 橿原市長は「交流とにぎわいまちづくり」、次に、山海 嘉之氏 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授は「革新的サイバニックシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」について報告をされました。

☆2日目は、西村 幸夫氏 東京大学大学院工学系研究科教授がコーディネーターを務め工藤 裕子氏 中央大学法学部教授から報告が始まり、木下 齊氏 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事、木村 正明氏 株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役、本間 源基氏 茨城県 ひたちなか市長、末松 則子氏 三重県鈴鹿市長報告後、パネルディスカッションに移りました。

【閉会式】

次期開催市市長挨拶に沖縄県那覇市市長 城間 幹子氏が明年11月に開催される全国都市問題会議への那覇市アピールに来られました。閉会挨拶には公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長 新藤 宗幸氏が登壇されました。

※どのような都市像を目指すのか、この課題に国内外からの視点で取り組みを挑戦した報告は大変に希望を湧かせて頂く内容ばかりでした。開催市でもある岡山市は路面列車が市民の足となり、また「自転車先進都市おかやま」を掲げながらコミュニティサイクル「ももちゃり」が設置され更なるまちづくりへの期待がありました。多くの報告内容は今、住んでいる所でのまちづくりへの挑戦をする事を学びました。